

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2021 年 12 月 17 日

No.10

2022年3月ダイヤ改正の提案を受ける

中央本部は「2022 年 3 月ダイヤ改正及び 2021 年度末効率化施策」について、提案を受けました。主な内容は以下の通りです。（詳細は別紙参照）

《2022年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- (1) ブロックレインの拡充
 - ① 福山レールエクスプレス2号（東京タ～東福山）運転区間延伸
 - ② 関東⇄関西間 利用運送事業者一部買い切り列車の設定
 - ③ 東北⇄関西間 ブロックトレイン速達化
- (2) 南福井駅E & S化に伴う輸送力配置変更
- (3) 輸送サービスの向上
 - ① 広島(夕)における大型コンテナ取扱拡大
 - ② 顧客要望を踏まえた輸送力配置変更
- (4) 取扱量に合わせた駅営業体制の見直し
 - ① 営業時間短縮：下関
 - ② 日曜日営業休止：富士
 - ③ 20ft フォークリフト配置見直し
沼津（2022 年度中予定）、熊本
- (5) 輸送体系の見直し
 - ① 需要動向を考慮した列車設定の見直し
 - ② 曜日休止列車の拡大

2. 設備投資 ※各両数については別紙を参照

- (1) 機関車…合計23両
- (2) コンテナ…合計4,600個
- (3) フォークリフト…97台

3. 列車計画規模（一日あたり）

コンテナ177千km(+58.2km)+車扱10千km(±0)=合計187千km(+58.2km)

4. ダイヤ改正日 2022年3月12日(土) JRグループ改正

提案を受けるにあたり中央本部は、「次期ダイヤ改正は、ブロックトレインの拡充などは収入拡大・確保の施策であり、会社は責任を持って増収確保に努めること。職場は依然として要員需給が厳しく、要員は会社が責任を持って確保すること。新型コロナウイルス感染防止対策はできるだけ迅速に改善すること。この間の議論を前提として、効率化施策は第一に安全を優先として行なうこと。運転士養成は育成が厳しく、社内で連携して対応しているとは聞いているが更なるフォローを求める。女性設備の拡充は計画があっても実行されておらず、女性社員配属先への設備投資は優先事項である。継続議論になっている事案もあり地方提案までに団体交渉でより良い回答を求める。」ことを主張しました。

これに対し会社は、「物流を取り巻く状況は、新型コロナウイルスや社会経済の影響を受け、ESG、環境保全、脱炭素など求められておりJR貨物会社の持つ役目は益々重要であり、施策は環境を重視していく。新しい生活様式により特積需要があり、特にブロックトレインを改善し、様々な施策を行なってお客様のニーズを捉え収入を確保していくために、要員や設備など改善していきたい。」との考え方を明らかにしました。

今後は、申し入れを行ない団体交渉で協議します。あわせて各地方本部と連携をはかり問題点・課題の解決にむけて取り組みます。

以上